

ヨリ支那側ニテ再ヒ之ヲ模倣シテ大正四年三月官民合同ヲ以テ延吉六道溝共同蓄  
 金社ナルモノヲ起セシモ業務未タ其ノ緒ニ就カス成否遽ニ逆睹スヘカラサルモ復  
 前轍ヲ覆ムナラント想像スル者多シ以上ノ外内地人ノ經營トシテハ金融組合アリ  
 鮮人側ニ共同貯金會社等アリテ夫々資金ノ流通ヲ爲シ居レトモ總括シテ現在當地  
 ニ於ケル流通資本ヲ打算セハ十二三萬圓乃至十四五萬圓内外ニ過キサカ如シ  
 局子街ニ於ケル金融機關トシテハ支那吉林官銀號ノ分號アリテ官金ノ取扱ヲ爲シ  
 傍ラ多少ノ民間貸出ヲ爲ス外ハ全ク何等ノ設備ナク又民間ニモ曲當舖等ノ機關ナ  
 キカ故商工業者ハ勿論一般ニ金融甚タ不便ナルヲ免レス而シテ官銀分號ノ貸出方  
 法ハ商舖ニ對シテハ登記資本額ノ五分ノ一迄ヲ其他ニ對シテハ不動產ヲ抵當トシ  
 テ貸出ヲ爲シ期限ハ普通六箇月ニシテ利子ハ一定セサルモ現時百吊文ニ付一箇月  
 一吊文ノ割合ナリ貸出ヲ爲スニ當リ確實ナル擔保ヲ提出セシムルカ故ニ利子ハ一  
 般民間融通ノモノニ比シテ遙ニ低利ナリ要スルニ同地方ハ未タ大ナル商取引行ハ  
 レサル爲金融ニ多大ノ影響ヲ及ボサス蓋シ同地ノ商業ハ穀類輸出ノ外附近農民ヲ  
 顧客トスルカ故ニ商人ハ現在資本額ノ限度ニ於テ取引ヲ爲シ見越仕入レヲ爲スカ  
 如キ場合少シ尙又農家カ金融ノ逼迫ヲ告クルハ毎年七八九月秋期收穫間際ニ在リ

テ中等以下ノ農民ノ多クハ次期ニ收穫スヘキ穀物ヲ提供スル約束ニテ同地ノ燒酎  
 業者若クハ穀物商ヨリ現金ノ融通ヲ受クル習慣アリ邦人側ニ於テモ未タ何等ノ金  
 融機關ヲ有セス爲替荷爲替ノ便ナク貨物ハ大半現金仕入又ハ代金引替小包郵便ニ  
 依ル小量ノ仕入ヲ爲シ得ルニ過キス殊ニ最モ不便ヲ感シ居ルハ本邦商品ノ取扱ヲ  
 爲ス商人ナリ即チ彼等ノ得意客ノ過半ハ支那人ナルヲ以テ受入ルル貨紙幣ノ殆ン  
 ト全部ハ支那貨ナルニ拘ラス本邦内地若クハ朝鮮ヨリ本邦商品ヲ仕入ルルニ當リ  
 日貨ヲ支拂ハサルヘカラサルヲ以テ一旦受入レタル支那貨ヲ更ニ日貨ニ交換スル  
 ノ必要アレトモ常ニ其ノ交換ニ困難シ從テ取引ノ敏活ヲ缺クノミナラス相場ノ變  
 動ニ由リ意外ノ損失ヲ來スコトアリ右ノ外頭道溝百草溝等ノ商邑アレトモ何レモ  
 金融機關ノ設ナシ

日鮮支人經營ノ主ナル金融機關及金利 大正六年五月調

名	稱	經營者	設立年月	資本金	利子	貸出方法
間島龍井村救濟會	財團法人	日鮮人共同	明治四十四年九月	二萬五千圓	年利一割	不動產擔保六箇月一期
龍井村共同貯金組合	日鮮人共同	日鮮人共同	大正二年十一月	六千圓	月利二步五分	信用
協同貯金會社	朝鮮人	朝鮮人	大正四年一月	三千圓	月利四步	信用及不動產擔保



共濟會	支那人	明治四十四年十二月	二十五萬吊	月利三步	不動產擔保
延吉六道溝合同貯金會社	同	大正四年三月	八萬吊	同	信

備考 右ノ外日鮮人經營ノ質屋アリ

第二節 流通貨幣

間島ニ於ケル流通貨幣ハ頗ル複雑ニシテ支那官帖同銀票中國銀行交通銀行等日貨(日本銀行券朝鮮銀行券露貨等三箇國ノ貨幣ニ跨レリ之ヲ小別スレハ貨幣ノ内ニモ支那鑄造ノ制錢及小錢銅錢等アリ又銀貨ニハ日支鮮露ノ四箇國ノモノアリテ内支那銀貨ハ半角一角二角五角一元ノ五種ニ分レ吉林省鑄造ノ外湖南湖北奉天廣東山西等ノモノ流通シ居レリ

他省ニ在リテハ元銀ヲ大洋錢ト稱シ小銀貨ヲ小洋錢ト稱ヘ小洋錢ハ大洋錢ニ對シ常ニ打歩ヲ要スルモ間島方面ニ於テハ多ク同價額ニ使用シ居レリ而シテ普通角ト稱ヘスシテ吊文ノ數ヘ方ニ依リ一角ハ一吊四百文一元ハ十四吊文ニ數ヘ居レトモ相場ニ依リテ時々變動ス

流通紙幣ノ種類モ同シク日本紙幣朝鮮銀行券露國紙幣及吉林官帖ノ四種アリ日本銀行券ハ「老頭兒票」以前兌換券ニハ老人ノ肖像アリシヲ以テ此ノ稱アリト稱シ一般

支那人間ニ信用厚シ

右貨幣ノ流通額ニ就テハ何等統計ノ據ルヘキモノナキヲ以テ遽ニ確數ヲ掲出シ難キモ大體ノ推算ニ依レハ間島全體ヲ通シテ日貨四十萬圓官帖銀票計約七八百萬吊(約六十萬圓)露貨二十萬圓餘ノ割合ナリ

第九章 交通及交通機關

第一節 交通路

東間島内外市邑ノ交通路ハ大概馬車ノ通行ヲ許スト雖四月融雪ノ候及七八月ノ雨季中ハ通路泥濘ニシテ交通困難ヲ極メ殊ニ雨期中ハ河水漲溢往々ニシテ交通ノ杜絶數日ニ亘ルコトアリ

西間島ニ於ケル交通路ハ夏期増水ノ時ハ屢交通ヲ杜絶シ風雨ノ際ハ倒木道路ヲ塞キ或ハ人馬ヲ損傷スルノ危險アレトモ冬期ニ至レハ各河川及濕地ハ悉ク氷結シテ車馬ノ通行自在ナルヲ以テ貨物穀類ノ運搬及遠隔ノ地ニ至ル旅行ハ概ネ此ノ季節ニ於テスルヲ常トス

間島東部ヨリ他地方ニ通スル主ナル道路左ノ如シ



(一) 朝鮮方面

一、龍井村ヨリ會寧ニ到ルモノ 此ノ隔離十三里ニシテ途中火狐狸溝峠(兀良哈嶺)ノ嶮豆滿江ノ渡シ等アリト雖尙牛馬車ヲ通ス

二、龍井村ヨリ鐘城ニ到ルモノ 此ノ距離十里弱ニシテ途中概シテ平坦ナリ

三、龍井村ヨリ茂山ニ到ルモノ 此ノ距離約二十里ニシテ途中ノ山路崎嶇トシテ交通極メテ不便ナリ辛シテ北鮮式牛車ヲ通ス

以上ノ諸道路中龍井村鐘城間ノ道路ハ最モ平坦ナルモ鐘城ヨリ北鮮ノ海岸ニ出ツル諸道路ハ悉ク險惡ナルヲ以テ本邦及南鮮ヨリ間島ニ達スルニハ會寧ヲ經由スルヲ以テ最良最便ナリトス

(二) 支那方面

一、龍井村ヨリ敦化、額穆索ヲ經テ吉林ニ到ルモノ 此ノ間八百清里(九十邦里)ニシテ途中老頭溝嶺、五箇頂子嶺、哈爾巴嶺、通溝崗嶺、張廣財嶺、老爺嶺等アリ道路一般ニ良好ナラサルモ尙車輛ヲ通スルコトヲ得但シ概シテ傾斜ハ急峻ナラサルヲ以テ鐵道ヲ布設スルニハ困難ナラサルカ如シ

二、龍井村ヨリ頭道溝窩集嶺ヲ經テ敦化ニ到ルモノ 此ノ距離約四十邦里ナリ

三、龍井村ヨリ局子街ヲ經テ寧古塔ニ到ルモノ 此ノ距離本道ニシテ七百清里(約七十五邦里)近道ニシテ五百二十清里(約六十邦里)ナリ本道ト近道トハ局子街ノ北方長山嶺ノ北麓ニ於テ分岐ス其ノ本道ハ同地點ヨリ東方凉水泉子ニ於テ轉シテ西北方ニ向フ所謂艾河ノ左岸ニ在ル琿春寧古塔街道是ナリ近路ハ分岐點ヨリ直ニ北方ニ向フ本道上ノ主ナル峠ハ長山嶺、高麗嶺、老爺嶺等ニシテ近道上ニハ長山嶺、摩天嶺、老爺嶺等アリ共ニ難所ナレトモ尙車輛ヲ通スヘシ

四、龍井村ヨリ局子街ヲ經テ琿春ニ到ルモノ 此ノ距離三百清里ナリ琿春ニ到ルニハ朝鮮内地ヲ經ルモノト局子街ヲ經ルモノトノ二徑路アリ龍井村ヨリ行クニハ鐘城ニ出テ朝鮮内地ヲ經ルヲ便トス局子街ヲ經ル道路ハ高麗嶺、大盤嶺ヲ除ク外平坦ニシテ大盤嶺ヲ越ユレハ所謂琿春平野ナリ

右ノ内商業通路トシテ最モ主ナルモノハ北鮮方面ニ在リテハ龍井村ヨリ會寧ニ通スル街道ニシテ支那方面ニ在リテハ龍井村ヨリ吉林ニ通ズル街道及龍井村ヨリ局子街ヲ經テ琿春ニ通ズル街道ナリトス

間島西部ヨリ外部ニ向フ道路ハ北鮮方面ニ在リテハ土們江ヲ溯リ白頭山ノ東麓ヲ經テ茂山或ハ甲山方面ニ達スルモノアリト雖峻嶮崎嶇トシテ車輛ヲ通セサルノミ



ナラス夏期ハ谿水漲溢シテ殆ント交通ヲ杜絶ス滿洲方面ニ對シテハ北方敦化ニ通  
スルモノト西北方松花江ノ河孟ヲ經テ吉林ニ達スルモノトアリ共ニ殆ント車輛ヲ  
通スルコト能ハス但シ後者ハ松花江河孟ニ出ツルノ後ハ車輛ヲ通スヘシ

第二節 交通運輸機關

間島ノ地タル豆滿江、哈爾巴圖、海蘭、嘎呀等ノ河流縱横ニ貫通スレトモ何レモ山間ヲ  
屈曲流下シ河水深淺ノ差甚シク舟楫ノ便稀ニ只僅ニ豆滿江ノ下流慶源附近迄小蒸  
汽ノ湖江シ得ルニ過キス水運既ニ斯ノ如ク然モ陸ニハ未タ鐵道ノ便ナキ爲馬車、馱  
馬、牛車等ヲ以テ物資ノ運搬ヲ爲スアルノミ

馬車ニハ露式四輪車及支那式二輪車ノ二種アリ露式四輪車ハ平時ニ於テ龍井村ニ  
集ルモノ約七十臺ヲ數フ大貨物ノ運搬ハ概ネ之ニ依ル六道溝ヲ中心トシテ粟、豆等  
ノ輸出旺盛ヲ極メ從テ運賃昂上ノ時期ニ至レハ局子街吉林方面ヨリ來集シ時ニ二  
百臺ヲ數フル事アリ普通千八百斤乃至二千四百斤ノ荷物ヲ積載ス

二輪車ニハ馬ヲ用ユルモノト牛ヲ用ユルモノトアリ頭道溝、局子街、龍井村一帶ニテ  
千以上ヲ數フヘシ此レハ普通農作用即チ肥料其ノ他ノ運搬用ニ供セラルルモノナ  
ルカ農閑期ニ至レハ百姓カ出テテ運輸ニ從フモノナリ一臺ノ積載量六百斤トス

馱馬ハ今日龍井村清津間ノ運輸ニ從フモノ百五十頭ヲ算ス嘗テ二百頭ヲ數ヘシ事  
アレトモ最近甲山方面ニ買上ケラレタルト朝鮮内地ノ馬糧騰貴セシ事及清津蒼坪  
間ノ鐵道竣工シ運賃率減少セシ事ニ基因シテ漸次減少ノ傾向ヲ示シツツアリ尙環  
春、局子街、敦化及吉林間ヲ通スルモノ二百餘頭アリ馱馬一頭ノ積載量ハ二百五十斤  
乃至三百五十斤トス  
今以上ノ運輸機關ニヨリ各重要市邑間ノ運賃、里程等ヲ示セハ左ノ如シ勿論運賃率  
ハ耕作ノ時期輸送事業ノ繁閑ニヨリテ多少ノ變動ヲ免レス左表ハ最近一年間ノ賃  
率ヲ示セルモノナリ

間島主要市場間輸送賃銀表 (天正六年三月調)

地名	日本里程	種類	百斤ニ對スル運賃	備考
龍井村清津間	三五 <sup>里</sup>	馱馬車	一、二〇〇—一、八〇〇	
龍井村會寧間	一三、二四 <sup>里</sup>	馱馬車	三、〇〇〇—二、八〇〇	
龍井村局子街間	四、一八 <sup>里</sup>	馱馬車	四、〇〇〇—四、五〇〇	馱馬車ハ斤量積ノ 牛車ハ一輛積ナリ
龍井村頭道溝	五、	馱馬車	一、五〇〇—二、〇〇〇	
龍井村太拉子間	四、	牛車	一、五〇〇—二、〇〇〇	



龍井村南陽坪間	四、 <sup>四</sup>	牛	一、五〇〇—二、〇〇〇 <sup>四</sup>
龍井村銅佛寺間	五、	馬	二、五〇〇 <sup>四</sup>
龍井村天寶山間	一、	同	六〇〇—八〇〇 <sup>四</sup>
局子街琿春間	二、四、	同	一六—二〇 <sup>四</sup>
局子街頭道溝	九、二、八	同	八—九
局子街百草溝	一、三、	同	一、二—一三
局子街銅佛寺間	五、	同	五—六
局子街天寶山間	一、	同	一〇—一二
局子街南陽坪間	五、 <sup>一</sup> 、 <sup>八</sup>	同	六—八
局子街太拉子間	八、 <sup>一</sup> 、 <sup>八</sup>	同	一〇—一二
局子街吉林間	七、	同	二五—六〇

八二

### 第十章 清津會寧鐵道一部開通ト其ノ間島方面ニ及ホセル影響

間島輸出入ノ大部分ヲ吞吐スル北鮮清津港ヲ起點トシテ國境會寧ニ達スル所謂清會鐵道ノ半部清津蒼坪間約三十二哩ハ大正五年十一月五日ヲ以テ開通セリ本鐵道

一八二

竣工前ニ於テハ本鐵道カ當方面物資ノ輸出入上多大ノ效果アルヘク期待サレタルモノナルカ愈々開通ノ結果ハ之ニ依テ何等ノ便益ヲ見サルノミナラス却テ荷物ノ到着ニ遲延ヲ來サシムルカ如キ珍現象ヲ生シ當方面ノ商人ヲシテ甚シク失望セシメタルカ如シ以下之ヲ概記スヘシ

一八三

#### 輸出入物資ノ運輸方法

從來當方面物資ノ輸出入運輸方法ハ左ノ二ナリキ

- 一、 清津會寧間手押式臺車、會寧龍井村間牛車或ハ馬車ニヨルモノ
- 二、 清津龍井村間全部駄馬ニヨルモノ

今次一部開通ニヨリ鐵道便ニ依ル時ハ左ノ如シ

- 一、 清津市街荷揚場ヨリ清津鐵道驛迄臺車
- 二、 清津驛ヨリ蒼坪迄鐵道
- 三、 蒼坪驛ヨリ會寧迄臺車
- 四、 會寧龍井村間馬車又ハ牛車

右ノ如ク前後四回ノ積替ヲ要スル事トナリタリ而シテ之レカ結果トシテ左ノ如クナレリ

八三



積替手數ノ煩雜 右ノ如ク清津會寧間僅カニ二十里餘ノ間ニ於テ四回ノ積替アリ其ノ都度積込積卸シノ手數甚シキ爲貨物ノ破損多シ又紛失ヲ誘起スル事少シトセス間島商人ノ言フ所ニヨレハ過般來間島(龍井村)ニ到着シタル硝子器、粗布ノ梱包等完全ナルモノ甚タ尠ク中ヨリ一疋二疋ノ粗布ヲ引拔キ或ハ煙草ノ大荷物中ノ一二箱紛失シ甚シキニ至テハ米俵中ヨリ米數升ヲ拔キ取リ重量補填ノ爲砂又ハ石塊等ヲ混入セルモノアリ爲ニ着荷後荷主ニ於テ其ノ責任者ヲ求ムルモ途中ノ積替地多キ爲何レノ場所ニ於ケル過失又ハ不正行爲ナリヤ之ヲ發見スルニ苦シミ結局ハ商人ノ泣寢入ノ狀態ニテ一時大ニ恐慌ヲ來シタリシカ其ノ後各方面ニ交渉ノ結果荷仲仕ノ取締ヲ嚴ニシ又臺車數車毎ニ一名ノ荷宰領ヲ附シ又憲兵隊ニ於テ沿道ノ監視ヲ嚴ニスル等種々ノ方策ヲ講シ漸ク其ノ弊害ヲ緩ニスル事ヲ得タリ

時日ノ空費 一部鐵道便ニヨルモ目下ノ所ニテハ時日ヲ要スル事頗ル多ク清津龍井村間僅カニ三十五里ヲ八日乃至十二日ヲ要スル狀況ニテ之ヲ全部駄馬ニヨル五日乃至六日ナルニ比シテ多大ノ相違アリサレハ龍井村商人等ハ尙駄馬ニヨルコトヲ希望スル傾向アリ

運賃 今龍井村清津間ノ駄馬積及一部鐵道ニ依ル場合ノ運賃ヲ比較スル時ハ左ノ如シ

駄馬積	百斤ニ付	壹圓貳拾錢—壹圓八拾錢
同	一石ニ付	四圓内外
一部鐵道便	百斤ニ付	壹圓參拾錢内外
同	一石ニ付	參圓五拾錢内外

即チ一部鐵道便ニヨル時ハ駄馬積ニ比シ百斤ニ付十錢乃至五十錢一石ニ付約五十錢ノ利益アルモ前述ノ如ク時間ノ空費荷物ノ破損等ノ爲メ結局サシタル便益ヲ蒙ラサル事トナレリ

尙一言スヘキハ鐵道便ニ於テハ噸扱或ハ一車借切り等ノ方法ニヨル時ハ遙カニ運賃ノ低減ヲ得ルヤ論ナキ所ナルモ目下間島方面ノ商人中ニハ此等ノ取扱ニ依ルモノ極メテ少ク即チ輸出品ニ於テ天寶山產銅及穀類輸入ニ於テ米、醬油等纏リタルモノハ一箇月數回ニ過キス他ハ皆小口物ナルヲ以テ商人側ニ於テモ鐵道利用十分ナラサルノ嫌ナキニアラス

要之右ノ如キ不便ハ目下未タ運輸機關發達ノ過度期ニアルカ故ニ一時的ノ現象ニ



間島ニ於ケル水稻

過キスト見ルヲ穩當トスヘク來春早々愈々清會線ノ全通ヲ見ルニ至ラハ多大ノ變革ヲ來シ現在清會間三四日ヲ費シツツアルモノ僅々數時間ニ短縮セラレ會寧龍井村間一日若クハ二日間ニテ事足ルヘキヲ以テ現今ノ鐵道便ニ比スルトキハ實ニ六日乃至十日ヲ短縮シ前述ノ一時的弊害モ爲ニ除去セラレ間島方面ノ商人モ茲ニ始メテ本鐵道ノ恩澤ニ浴スルニ至ルヘシ即チ鐵道ニヨル利便ハ現今ニ於ケルカ如ク單ニ一部ノ竣工ニヨリテ望ム能ハスシテ全通ノ後ニ至リテ始メテ顯著ナル效果ヲ現スヘキナリ



間島ニ於ケル水稻

過キスト見ルヲ穩當トスヘク來春早々愈々清會線ノ全通ヲ見ルニ至ラハ多大ノ變革ヲ來シ現在清會間三四日ヲ費シツツアルモノ僅々數時間ニ短縮セラレ會寧龍井村間一日若クハ二日間ニテ事足ルヘキヲ以テ現今ノ鐵道便ニ比スルトキハ實ニ六日乃至十日ヲ短縮シ前述ノ一時的弊害モ爲ニ除去セラレ間島方面ノ商人モ茲ニ始メテ本鐵道ノ恩澤ニ浴スルニ至ルヘシ即チ鐵道ニヨル利便ハ現今ニ於ケルカ如ク單ニ一部ノ竣工ニヨリテ望ム能ハスシテ全通ノ後ニ至リテ始メテ顯著ナル效果ヲ現スヘキナリ



序

一、問島ニ於ケル主要産物ハ農産物ナリ  
 一、問島滞在中ノ一日余領事館ニ朝鮮總督府派遣員末松警視ヲ訪フ傍ニ問島農學  
 校長青江氏アリ余兩氏ニ向テ農産物中最モ將來アルモノヲ問フ答ヘテ曰ク米作  
 ナリト  
 一、即チ本編ハ右兩氏ニヨリ聞キ得タル所ヲ録シタルモノナリ

目次

第一章	問島稻作ノ沿革	一
第二章	問島稻作ノ現況	二
第一節	作付反別及收量高	二
第二節	坪當リ成績表	三
第三節	産米ノ品質	四
第四節	栽培ノ概況	四
	(一) 稻田ノ整理	
	(二) 播種	
	(三) 稻ノ品位	
	(四) 灌漑	
	(五) 除草	
	(六) 肥料	
	(七) 收穫	
	(八) 調製	
	(九) 收支計算	
第三章	問島ニ於ケル米穀ノ需用	八
第四章	稻作ノ天然要素	九
第一節	温度	九
第二節	日光	一〇
第三節	濕氣	一〇



序

一、間島ニ於ケル主要産物ハ農産物ナリ  
 一、間島滞在中ノ一日余領事館ニ朝鮮總督府派遣員末松實視ヲ訪フ傍ニ間島農學  
 校長青江氏アリ余兩氏ニ向テ農産物中最モ將來アルモノヲ問フ答ヘテ曰ク米作  
 ナリト  
 一、即チ本編ハ右兩氏ニヨリ聞キ得タル所ヲ録シタルモノナリ

目次

第一章	間島稻作ノ沿革	一
第二章	間島稻作ノ現況	二
第一節	作付反別及收量高	二
第二節	坪當リ成績表	三
第三節	産米ノ品質	四
第四節	栽培ノ概況	四
(一)	稻田ノ整理	
(二)	播種	
(三)	稻ノ品位	
(四)	灌漑	
(五)	除草	
(六)	肥料	
(七)	收穫	
(八)	調製	
(九)	收支計算	
第三章	間島ニ於ケル米穀ノ需用	八
第四章	稻作ノ天然要素	九
第一節	温度	九
第二節	日光	一〇
第三節	濕氣	一〇



二

第四節 風 ..... 一一

第五節 土壤 ..... 一一

第六節 灌溉水 ..... 一一

第五章 間島稻作ノ將來 ..... 一三

結論 ..... 一四

# 間島ニ於ケル水稻

調査課員 上塚 司

## 第一章 間島稻作ノ沿革

間島ニ於テ水稻ヲ栽培セル地方ハ一箇所ニ止マラサレハ其ノ地方ニヨリ自ラ沿革ヲ異ニスレトモ東良下里社大教洞附近ノ稻作最モ古クヨリ行ハレ既ニ十五年前ヨリ栽培耕作セラレタルモノノ如シ

水田ノ經營ハ専ラ鮮人ノ手ニ據レルカ元來北鮮地方ヨリ間島ニ移住シ來リタル農民ノ多數ハ稻作ニ經驗無キヲ以テ山間谿谷ノ間ニアル濕地又ハ水利ノ便アル耕地ヲ化シテ水田ト爲スヲ知ラス單ニ畑作ニ専ラナリシカ偶々南鮮地方竝咸鏡南道定平郡方面ヨリ轉住シ來レル農民中ニハ多少之カ經驗ヲ有スルモノアリ隨テ彼等ハ率先シテ從來捨テテ願ミラレサリシ低濕地ヲ力耕シテ水田トナシ漸次水利灌溉ノ







	明治四十四年	大正元年	大正二年	大正三年	平均
一	二、六三三	二、一三三	二、一七	二、五三	二、六五八
二	一〇〇、三〇〇	八八、〇五〇	八三、九七三	八六、九三一	九一、九三一
三	〇、四九	〇、五〇	〇、五〇	〇、五四	〇、五〇
四	三、八〇〇	二、五三七	二、三二一	二、七七五	二、八四五
五	一、七〇〇	一、二六九	一、一八〇	一、四六六	一、四七六
六	〇、二五六	〇、二二二	〇、二三七	〇、二五七	〇、二五七
七	〇、三七九	〇、三五三	〇、三五	〇、三三一	〇、三五五

右表ニヨリ判定スルニ間島ニ於ケル玄米反當り收量ハ一石五斗内外ト見テ大差ナカルヘシ

### 第三節 間島産米ノ品質

間島ノ如キ温度低キ土地ニアリテハ到底良品種ヲ栽培シ能ハサレハ産米ニ於テモ品質劣等ナルヲ免レス且栽培法粗雑ニシテ調製法又宜シキヲ得サルカ故ニ益々其ノ品質ヲ劣惡ナラシメ需要者ニ満足ヲ與ヘ得サル缺點アリ

### 第四節 水稻栽培ノ概況

間島ニ於ケル稻作ハ全ク朝鮮人ノ手ニヨリテ行ハレ其ノ方法誠ニ粗雑ナルモノナリ今其ノ概要ヲ述フレハ左ノ如シ

#### (一) 稻田ノ整理

春期四月解氷後牛二頭立ノ朝鮮犁ニテ耕起シ少量ノ水ヲ灌キシヨベルヲ以テ土壤ヲ練リ畦畔ヲ塗リ水ノ洩レサル様ニシ水ヲ湛ヘ馬鍬ヲ以テ代耙ヲ爲シ土壤ヲ平坦ナラシメ後播種スルヲ常トス

#### (二) 播種

播種ノ時期ハ年ニヨリテ多少ノ早晚アレトモ通例小滿(五月二十二日)ヲ中心トシテ其ノ前後ニ播種シ一反歩ニ付粃六七升ノ割合ニテ數日間浸種シタルモノヲ一面ニ撒播ス

#### (三) 品種

間島ニ於テハ稻ノ諸品種ヲ輸入シテ栽培ヲ試ミタルモ其ノ結果多クハ良好ナラス其ノ内比較的好成績ヲ舉ケタルモノ粃ニ二種糯ニ一種アリ今日主トシテ栽培スルモノハ以上ノモノナリ而シテ二種ノ粃米中一ハ朝鮮江原道他ハ咸鏡北道鏡城附近ヨリ輸入サレタルモノナルカ江原道ヨリ輸入セラレタルモノハ收量甚タ少キヲ以テ漸次減少シ大正三年以降ハ黃島早稻ト稱スル鏡城ヨリ輸入セラレタル粃稻大部分ヲ占ムルニ至レリ又少量ノ糯稻品質種名不詳ヲ栽培シ居レリ

#### (四) 灌溉



稻田ニ灌溉スルニハ各地方トモ河川ノ水ヲ利用シ居レリ各所トモ用水カ自然ニ満  
ツル様河水ト耕地トノ高低ヲ考慮シ河中一定ノ場所ニ石堰ヲ作り水ノ流入ニ便ナ  
ラシム而シテ若シ一朝洪水アル時ハ石垣ヲ破壊シ水害ヲ免ルルノ装置ヲ爲シ居レ  
ト甚タ不完全ナリ

(五) 除草

除草ハ何レモ手ニテ拔キ取ルモノナレハ手ニテ拔取り得サル小ナル雜草ハ殆ント  
顧ミサルモノノ如シ而シテ除草ノ回数ハ人ニヨリ一定セス少キハ二回多キハ六七  
回ヲ行フモノノ如シ

(六) 肥料

稻ノ肥料ハ春期畔勦前稀ニ牛糞ヲ原肥トシテ用フルモノ無キニ非ラサルモ肥料ヲ  
用フル事ナクシテ栽培スルヲ普通トス

(七) 收穫

間島ニ於テ稻ヲ收穫スル時期ハ一定セス一度降霜アレハ直ニ收穫スル習慣アリ之  
ヲ收穫スルニハ朝鮮鎌ニテ刈リ取り小束トナシ牛車ニテ自宅ニ運搬ス

(八) 調製

稻ヲ收穫シ家ニ運ヒタル時ハ地上ニ牛糞ヲ撒布シ水ヲ注キ粗朶箒ヲ以テ之ヲ塗り  
乾燥セル後稻ノ根元ヲ持テ地上ニ置キタル石或ハ木片ニ穂ヲ打テ當テ脱穀シ之ヲ  
回轉臼(石造)ニ入レ牛ニテ臼ヲ回轉セシメ粃磨ヲ行ヒ箕ニテ粃糠ヲ除キ再ヒ回轉臼  
ニヨリテ精白トナスヲ常トス

(九) 收支計算 (一反步當リ)

支出

種子七升代	四十二錢
肥料 <small>代(肥料ヲ施サレモノ多キモ假ニ平均二百貫ノ牛糞ヲ入ルハトセバ)</small>	一圓
整地(四人半分)	一圓八十錢
播種(一人)	四十錢
管理(四人)	一圓六十錢
收穫及脱穀(四人半)	一圓八十錢
地租及諸税金	十五錢
地價ノ利息 <small>(一反十五圓トシ一割ノ利)</small>	一圓五十錢
計	八圓六十七錢



收 入 (粃ニテ販賣スルモノトスレハ)

粃 米(二石八斗五升) 一升ニ付四錢 十一圓四十錢

藁 (九十貫) 一貫ニ付三錢 二圓七十錢

計 十四圓十錢

差引益金 五圓四十三錢

以上ヲ精白スルトセハ支出ニ於テ粃摺精白人夫六人二圓四十錢ヲ増加ス收入ニ於テ精白一石三斗五升二十四圓三十錢トナル故ニ

支 出 十一圓七錢

收 入 二十七圓

差 引 十五圓九十三錢

### 第三章 間島ニ於ケル米穀ノ需要

間島ニ於テハ年々人口増加シ且ツ漸次米食スル者増加スルカ故ニ從テ其ノ需要ハ年々増加ノ傾向アリ今一兩年間ニ於テ會寧方面ヨリ龍井村ニ輸入セラレタル精米ノ數量ヲ示セハ左ノ如シ

大正元年 白米 一、一四七擔(一擔ハ日本ノ十六貫ニ當ル)

大正二年 一、三三二

大正三年 一、七五三

上表ニヨレハ間島地方米穀ノ需要ハ大正元年ヨリ三年ニ至ル三年間ニ於テ約六割ノ増加ヲナシタルヲ見ル而シテ現今間島ニ於ケル米穀ノ需要ハ日本米、間島米、支那米ヲ合シテ約六千石ト見做シテ大差ナカルヘシト

### 第四章 稻作ノ天然要素

#### 第一節 温 度

稻ハ元來熱帶及温帶植物ニシテ温熱ヲ多ク要スル事ハ何人モ知ル所ナリ而シテ間島ニ於ケル稻作狀況ハ上述ノ如ク實際ニ相當ノ成績ヲ擧ケツツアルヨリスルモ或特種ノ稻ハ當地方ノ温熱ヲ以テ十分開花結實シ得ルヲ證スルニ足ル而シテ間島ニ栽培セル品種黃島早稻ハ能ク六度ノ温度ニ於テ發芽スルノ特質ヲ有ス今大正三年ニ於テ發芽温度ヲ六度トシテ氣温ニヨレル稻ノ積算温度ヲ調フルニ實ニ二、〇〇三度七分トナルナリ



第二節 日光

日光カ稻ノ生育ニ大ナル關係アル事ハ論ヲ俟タス而シテ間島地方ハ降雨アル外曇天甚タ少キカ故ニ日照時間割合ニ多シ  
今大正二三年ニ於ケル生育期間ノ天候ヲ示セハ左ノ如シ

天候	五月		六月		七月		八月		九月		十月		合計
	二年	三年	二年	三年	二年	三年	二年	三年	二年	三年	二年	三年	
快晴	一〇	一四	三	五	四	三	一	二	一〇	九	一三	一七	五四
晴	一一	一二	七	三	一〇	八	一一	一一	七	九	一二	七	五四
曇	三				一				三				五
雨	七	五	一五	二〇	一六	二〇	八	一八	一〇	一二	五	七	八一
合計													八二

第三節 濕氣

濕氣ハ夜間濕度ノ下降ヲ防クノ效ナキニアラスト雖間島地方ノ如ク溫度低キ所ニ於テハ稻ノ成熟期間ニ濕氣多ケレハ其ノ成熟ヲ遅ラシムルノ弊アルモノナルカ間島地方ハ大陸的氣候ヲ帶ヒ濕氣甚タ少ク稻ノ成熟上利益大ナリ今大正三年ニ於ケル稻ノ發育期間ノ月平均濕度ヲ示セハ左ノ如シ

五月	六月	七月	八月	九月	十月
四七	六四	七七	八〇	七四	六三

第四節 風

適度ノ風ハ作物ノ生育及生殖作用ヲ助クルコト多大ナレトモ一朝其ノ速力大ニシテ暴風颶風トナル時ハ作物ヲ害スルコト夥シキモノナルコトハ何人モ知ル所ナルカ當地方ニテハ未タ稻ヲ害スル程度ノ強風アリタルヲ聞カス故ニ過去ニヨリ將來ヲ推斷スルニ暴風ノ爲稻作ヲ害セララルルコト殆ント稀ナルヘシト云フヲ得ヘシ

第五節 土壤

土壤ハ作物栽培ノ根本ニシテ其ノ所含養分ノ多寡、吸收力、滲通力ノ強弱ハ最も多大ノ關係ヲ有スルモノナリ間島ニ於ケル土質ハ所ニヨリ一樣ナラスト雖概シテ肥沃ナル粘質壤土ニシテ稻ノ栽培上適良ナル性質ヲ具備ス

第六節 灌溉水

水稻ハ水ト重大ナル關係ヲ有シ而シテ河水カ灌溉水ニ最モ適當セルハ何人モ唱フル所ナリ間島ハ豆滿江、海蘭河、嘎呀河、哈爾巴通河等ノ諸流縱横ニ通セサルカ故ニ少



シク灌溉ノ法ヲ講スレハ平地ニアリテハ灌溉水ニ不便ヲ感スル地ハ殆ント無キニ至ルヘシ現今間島ニ於テハ全ク河水ノ洪水汎濫ニ備ユル所無キヲ以テ一朝暴雨連日ニ亘ルカ如キ事アラシカ其ノ害ノ及フ所ヤ知ルヘキナリ大正四年ニ於ケル洪水ニ際シテハ作付反別二百餘町歩ノ内約一百餘町歩ヲ全滅セシメタルカ排水ニ意ヲ用ヒサル間ハ此ノ傾向ハ何時迄モ連續スヘキナリ然レトモ右ハ猥リニ河川ニ沿ヘル低濕地ヲ開墾セル罪ニシテ強チ河水工事ノ不完全ノミニモ歸スヘカラサル點アリ暴風雨少キ當地方ニ於テハ治水ニ意ヲ用ヒナハ水害ハ左程懸念スヘキ事ニアラサルヘシ

### 第五章 間島稻作ノ將來

間島ニ於テハ稻作上自然ノ要素ハ最良ナリト云フヲ得サレトモ又決シテ劣等ナリト言フヲ得ス土質稍劣等ノ部類ニ屬スト雖相當ノ收穫ヲ得ツツアリ而シテ今後米穀ノ需用ハ益々増加スヘク又間島米ノ產高該地方ノ需要ニ超過スルコトアリトスルモ豆滿江ノ對岸朝鮮咸鏡北道ハ米作僅少ナルノミナラス民度低級到底高價ナル良質ノ米ヲ購入食用ニ供スル能ハサルヲ以テ廉價ナル間島米ヲ購入スルニ至ルハ

理ノ當然ナル所ナルヘク然モ現在ノ主要作物タル粟ヨリハ米遙カニ利益多キヲ以テ今後間島地方ノ水稻經營ハ益々發展スヘキモノト信セラレ今參考ノ爲メ粟作收支計算ヲ示セハ左ノ如シ

種	子 (四合)	二錢
肥	料	五十錢
整	地 (三人分)	一圓四十錢
播	種 (二人分)	四十錢
管	理 人 (四人)	一圓六十錢
收	穫及調製 (四人)	一圓六十錢
地	租	十五錢
地	價ノ利息	一圓五十錢
收	入	
支	粟 (二石七斗五升)	五圓二十錢
程	(百貫)	五圓



計 十圓二十五錢  
差引益 三圓八錢也

若シ右ヲ精白ストセハ支出ニ於テ精白人夫三人五分一圓四十錢ヲ増シ收入ニ於テ精白粟一石二斗二升五合十一圓二錢トナル故ニ

支 出 八圓五十七錢  
收 入 十六圓二錢

差引利益 七圓四十五錢

之ヲ既述白米益金十五圓九十三錢ニ比スレハ約其半ニモ足ラサルナリ

結 論

以上略述セルカ如ク間島ニ於ケル稻作ハ相當ノ成績ヲ示セリ只此ノ地ニ於ケル稻作上最モ不利ナルハ温度低キニアリ然レトモ灌溉水ヲ迂回セシメ太陽熱ノ吸收ヲ大ナラシメ晝間可成灌溉水ヲ淺クシテ根ヲ濕サヌ程度トシ晴天ニハ時々排水ヲナシテ地温ヲ上昇セシムル様ニシ又磷酸肥料ヲ用ヒテ結實作用ヲ促進セシムレハ温度ノ低キヲ補フヲ得ヘク尙適度ノ肥料ヲ施シ選種ニ注意シ點播トナシテ日光空氣

ノ滿通ヲ容易ニシテ手入ヲ怠ラスンハ從來ニ比シ約二割乃至三割ノ增收ハ敢テ難事ニアラサルヘシ尙當地方ノ氣候カ良品種ノ栽培ニ適セストスルモ栽培調製ノ方法ニ十分ノ注意ヲ注カハ在來種ト雖尙品質ヲ向上セシムルヲ得ヘク價格ニ於テモ尙一割ヲ増加スル事亦難事ニアラサルヘシ然ル時ハ一反歩ノ收量粗ニテ販賣シテ五圓四十三錢精白トスレハ二十二圓十二錢ノ純益アルヲ以テ今後間島地方水稻經營ハ十分ノ研究ト獎勵ノ價值アリト信ス (完)



索引

近着圖書、書類、雜誌、新聞重要記事

法 制

▲法 令

- 滿洲ノ不動産權ニ關スル調査
- 福建省教育會附設省會教育團公有林ニ關スル諸細則及章程
- 安徽長淮水上警察廳辦事細則
- 北京房地牧用暫行章程
- 在漢口敵國人ノ各國租界出入ニ關スル規則
- 漁業技術傳習所章程
- 皖南鎮守使ヲ設置シ定ムルニ中缺トナス
- 籌備國會事務局條例
- 河工獎章條例施行細則
- 內務部廳司分科規則
- 海軍官署保管擊捕物件規則
- 修正褒揚條例施行細則
- 縣知事勸業考成條例
- 律師考試令施行細則
- 俘虜處罰條例

- (朝鮮銀行調査)
- (政府公報第六四〇號)
- (政府公報第六四九號)
- (政府公報第七一七號)
- (外事彙報第十一號)
- (政府公報第七〇三號)
- (政府公報第七〇三號)
- (司法公報第八四期)
- (政府公報第七〇〇號)
- (政府公報第六八七號)
- (政府公報第六八八號)
- (政府公報第六九〇號)
- (政府公報第六九九號)
- (政府公報第六八五號)
- (政府公報第六八七號)

- 記載年、月、日
- 大正六、四、
- 民國六、一、一
- 民國六、一、一、六
- 民國七、一、二〇
- 大正六、一、一
- 民國七、一、六
- 民國七、一、六
- 民國六、一、三〇
- 民國六、一、二九
- 民國六、一、二四
- 民國六、一、一五
- 民國六、一、一七
- 民國六、一、二八
- 民國六、一、二二
- 民國六、一、一四











吉長鐵道管理局編制專章  
 福建省ノ官制  
 吉長鐵路管理局編制專章  
 運輸會議章程  
 露國現在ノ政體及其機關紙  
 朝鮮刑事令改正ノ要旨  
 修正吉長鐵道管理局暫行職制  
 朝鮮總督府大豆検査規則  
 朝鮮總督府米穀検査規則  
 糖業試驗場章程  
 國定稅關條例  
 商業行規ノ效力  
 井水賣權ノ否認  
 當票ハ有價證券ナリ  
 准設民商事習慣調查會令  
 露都入市制限規定  
 露領沿海州給養委員會權限  
 國富ノ評價法ニ就テ

- ▲判例
- (滿蒙實業彙報第二九號) 大正六、一一、一五
  - (福建事情) 大正六、九、二一
  - (鐵路協會會報第六一、六二期) 民國六、一一、二五
  - (鐵路協會會報第六一、六二期) 民國六、一一、二五
  - (外交時報第三一五號) 大正六、一一、一五
  - (朝鮮彙報第三六號) 大正七、一、一
  - (安東商業會議所月報第三八號) 大正六、一一、
  - (安東商業會議所月報第三八號) 大正六、一一、
  - (農商公報第四卷第五册) 民國六、一二、一五
  - (農商公報第四卷第六册) 民國七、一、一五
  - (司法公報第八三期) 民國六、一〇、三一
  - (司法公報第八三期) 民國六、一〇、三一
  - (司法公報第八三期) 民國六、一〇、三一
  - (司法公報第八四期) 大正六、一一、三〇
  - (通商公報第四六九號) 大正六、一一、一五
  - (通商公報第四六六號) 大正六、一一、二二
  - (大藏省理財局調查月報第七卷第一四號) 大正六、一一、一〇

財政

▲一 般

英國ノ戰費  
 露國ノ國庫狀態  
 聯合諸國ノ政府ニ對スル佛國政府ノ貸付  
 露國大藏證券發行  
 修正中國銀行條例  
 支那ニ於ケル銀ノ缺乏  
 外國貨幣相場算定ノ基礎  
 四川寧遠關裁撤歸成都關監督派員管理  
 國際經濟彙報(自八月中旬至九月下旬)  
 戰後ノ經濟戰爭ニ關スル佛人ノ研究  
 支那幣制改革意見  
 支那幣制改革  
 地方財政及其統計概説  
 菸酒行政整頓ノ辦法  
 海外放資理論  
 大正五年ニ於ケル本邦ノ國際貸借關係ニツキテ  
 有史以來ノ露國試幣發行高  
 ▲鹽務  
 放運聯單存式  
 鐵道運照施行細則  
 各場警察暫行章程  
 增訂私鹽私物罰款賞金會同處置辦法  
 指定查驗處添設稅地點表

- (大藏省理財局調查月報第七卷第一五號) 大正六、一一、二五
- (大藏省理財局調查月報第七卷第一五號) 大正六、一一、二五
- (大藏省理財局調查月報第七卷第一五號) 大正六、一一、二五
- (通商公報第四七七號) 大正六、一一、二五
- (通商公報第四七七號) 大正六、一一、二五
- (商工時報) 大正六、一一、二〇
- (大阪銀行通信錄自第二四〇號至第二四一號) 大正六、八、二五
- (財政月刊第四八號) 大正六、一一、
- (財政經濟時報第四卷第一一號) 大正六、一一、
- (內外商工時報一月號) 大正六、一一、
- (支那自第八卷第二一號至第八卷第二四號) 大正六、一一、一五
- (奉天商會所月報第六〇號) 大正六、一一、一五
- (統計彙誌第四四三號) 大正六、一一、二五
- (政府公報第六七九號) 民國六、一二、二五
- (民國經濟雜誌第四卷第一號) 大正七、一、一
- (銀行通信錄第六五卷第三八七號)(東京) 大正七、一、二〇
- (滿蒙實業彙報第二九號) 大正六、一一、一五
- (東三省鹽務公報第四三期) 民國六、九、
- (東三省鹽務公報第四三期) 民國六、九、
- (東三省鹽務公報第四三期) 民國六、九、
- (東三省鹽務公報第四三期) 民國六、九、
- (東三省鹽務公報第四三期) 民國六、九、



鹽運人員旅行津貼辦法  
 東三省各場民國六年八九兩月銷鹽數目表  
 北鎮場大壩子灘圖  
 製鹼用鹽免稅ノ訓令  
 黑省樞運分局折收江錢ニ關スル訓令  
 支那鹽務調查  
 鹽務改組章程  
 各地銷鹽額改正  
 製鹽業開始計畫  
 露國鹽業事情  
 鹽稅剩餘金ニ就テ

▲公債

露國大藏證券發行  
 黑龍省地方有獎公債募集章程  
 北京シナケート  
 米支鐵道借款契約書、同附屬文書及追加ノ約款  
 米國國際資本團鐵道渾河ニ關スル事業  
 鳳凰山及軍機借款  
 河工借款成立  
 支那公債ノ騰貴  
 米國政府ノ友邦ニ貸出シタル借款額  
 政府歸還中國交通兩銀行缺款短期公債章程  
 大正六年度末支那各種借款

- (東三省鹽務公報第四三期) 民國六、九、
- (東三省鹽務公報第四三期) 民國六、九、
- (東三省鹽務公報第四三期) 民國六、九、
- (鹽政彙覽第一編) 民、六、一、
- (鹽政彙覽第一二編) 民國六、一、
- (日支時論自第四五號) 大正七、八、二五
- (滿蒙經濟事情第一四號) 大正七、一〇、一〇
- (燕摩第五號) 大正六、一〇、一〇
- (通商公報第四七〇號) 大正六、一一、一九
- (經濟資料第三卷第一二號) 大正六、一二、一
- (支那第八卷第二四號) 大正六、一二、一五

▲中央財政

露國政府ノ國債變遷  
 大正六年度末國債額  
 自借款  
 露西亞帝國銀行發行權擴張ノ戰時中ニ於ケル紙幣發行  
 露國財界ノ近況  
 英國政府紙幣ノ物價ニ及ホセル影響  
 一九一七年度ニ於ケル支那ノ財政

▲地方財政

福建省ノ財政  
 黑龍江財政廳所屬各局稽査員ノ裁撤  
 滿洲ニ於ケル金券ノ統一  
 勸業銀行設置ニ關スル總統令  
 庶民金融機關トシテノ質屋

▲稅捐

各國ノ戰時利得稅制  
 米國ノ戰時増稅ト對產課稅集中  
 會計 內容 (所得稅ノ課税ニ就テ  
 原價計算ノ様式ト作業功程ノ調査法  
 昨年ノ諸會社決算報告ヲ通覽シテ  
 川邊徵收田賦情形報告書  
 改良粵海關及九批等關稅則  
 察哈爾財政廳與和隆科地賦應征錢糧即自六年起征  
 蒙古製鹼公司製品納稅途稅釐

- (外交時報第三一八號) 大正七、二、一
- (統計集誌第四四四號) 大正七、二、二五
- (フアー、イースター、レヅユウ第一四卷第二號) 一九一八、二、

- (大藏省理財局調査月報第七卷第一四號) 大正六、一、一〇
- (大藏省理財局調査月報第七卷第一五號) 大正六、一、二五
- (大藏省理財局調査月報第八卷第一號) 大正七、一、二五
- (フアー、イースター、レヅユウ第一四卷第二號) 一九一八、二、

- (福建事情) 大正六、九、二一
- (財政月刊第四八號) 民國六、一、二、
- (滿蒙實業彙報第三〇號) 大正六、一、二、一五
- (農商公報第四卷第五册) 民國六、一、二、一五
- (東洋經濟新報第八〇〇號) 大正六、一、二、二五

- (大阪銀行通信錄第二四五號) 大正七、一、二五
- (大阪銀行通信錄第二四五號) 大正七、一、二五
- (第二卷第五號) 大正七、二、一一
- (財政月刊第四七號) 民國六、一、一、
- (財政月刊第四八號) 民國六、一、二、
- (財政月刊第四八號) 民國六、一、二、
- (財政月刊第四八號) 民國六、一、二、



吉林省稅則改正ニ就テ  
奉天省田賦ニ就テ  
奉天省現行稅制  
無條約國貨物稅  
支那ノ鹽稅ニ付テ  
農商部ノ全國鹽產稅統一說  
南滿洲ニ於ケル土地商租  
遼平縣寧覽寺香火地照章升科  
支那ニ於ケル手織綿布ノ免稅  
支那ノ鹽稅收入

產業一般

支那人經營ノ會社一覽表  
滿洲ニ於ケル新設諸會社「滿洲興業株式會社、滿洲皮革株式會社」  
支那政府ノ甘草及棉花栽培獎勵  
市鎮鄉農林漁牧調查報告規則  
全國農商統計調查報告規則  
阿共善旗實業振興策  
滿洲ニ於ケル邦人經營ノ會社  
支那實業失敗ノ眞因  
米國國際企業會社  
滿洲ノ新設會社  
北部山東省經濟事情附山東ニ於ケル麥稈眞田「農商公報ノ譯載」

(滿蒙經濟事情第一四號) 大正六、一〇、一〇  
(滿蒙經濟事情第一四號) 大正六、一〇、一〇  
(滿蒙經濟事情第一四號) 大正六、一〇、一〇  
(燕塵第五號) 大正六、一一、一〇  
(農商公報) 民國六、一一、一五  
(支那鹽業時報第四一號) 大正六、一一、二〇  
(東亞經濟研究第二卷第一號) 大正七、一、一〇  
(政府公報第七二五號) 民國七、一、二八  
(内外商工時報第五卷第二號) 大正七、二、一  
(フア、イースター、レヴユウ第一四卷第二號) 一九一八、二、

(農商公報) 民國六、一一、一五  
(滿蒙實業叢報第二九號) 大正六、一一、一五  
(内外商工時報第四卷第二二號) 大正六、一一、二  
(政府公報第七二一號) 民國七、一、二四  
(政府公報第七二一號) 民國七、一、二四  
(政府公報第七四一號) 民國七、二、一五  
(滿蒙經濟事情第一四號) 大正六、一〇、一〇  
(日支時論第四卷第一號) 大正七、一、一五  
(日支時論自第五二號) 自大正七、一、二五  
(集萃時報第二卷第三號) 至大正七、三、一  
(滿蒙經濟事情第一三號) 大正七、九、一〇

工業

▲一般

新支那ト現今ノ工業及商業  
支那ニ於ケル工業發展ニ關スル必要  
西朝鮮ノ工業  
支那工業ノ前途  
江西省ノ工業ニ就テ  
支那ノ工業ト安東  
南滿洲ニ産スル工業原料  
支那工業ノ發達ト日本  
湖北水泥廠  
蒙古製鐵公司洋式純鐵粉製造ニ關スルノ件  
我邦ノ工業ト支那  
湖南省工場表

▲化學工業

望少ナキ我が曹達工業  
漢口水電公司調査報告(未完)  
支那ノ糖業  
長春ノ燒鍋業  
米國ノ染料工業  
石炭ノ利用

(フア、イースター、レヴユウ第一三卷第一九號) 一九一七、一一、二  
(フア、イースター、レヴユウ第一三卷第一九號) 一九一七、一一、二  
(大陸工報第四三號) 大正六、一〇、一五  
(大陸工報第四五號) 大正七、一、一五  
(大陸工報第四三號) 大正六、一〇、一五  
(安東商業會議所月報第三八號) 大正六、一一、一五  
(奉天商會所月報第六〇號) 大正六、一一、一五  
(商工時報四月號) 大正六、四、一  
(經濟資料第三卷第一二號) 大正六、一一、一  
(政府公報第七〇五號) 民國七、一、一八  
(日支時論第四卷第一號) 大正七、一、一五  
(支那自第九卷第二號) 大正七、二、一五  
(支那自第九卷第四號) 大正七、二、一五  
(東洋經濟新報自第八〇四號) 大正七、二、二五  
(東洋經濟新報自第八〇六號) 自大正六、九、一五  
(大陸工報第四二號) 大正六、一一、一  
(經濟資料第三卷第一一號) 大正七、一、一  
(大陸第六卷第一號) 大正七、一、一  
(内外商工時報第五卷第二號) 大正七、二、一  
(經濟資料第四卷第二號) 大正七、二、一



▲製造工業

南滿洲ニ於ケル機業
支那ニ於ケル製絲資金ト其金融機關
支那直隸省綿紡織業
山東省ノ綿織物業並ニ絹織
「ラミー」紡績ニ就キテ
中國ノ蠶業
支那ニ於ケル工藝品及其成績
北滿洲ノ製粉業
北滿洲ノ製粉業
山東省ノ生卵加工
戰爭(世界ニ於ケル)ト製茶
糖和ト製紙事業
最近ノ支那製造工業
最近ノ支那紡織業
最近ノ支那海運造船業
湖南省各縣製造場調査
遼源紡織公司營業成績
華南浙江製糖股份公司
我國ノ陶磁器(未完)
本邦紡績業ト支那

(内外商工時報一月號) 大正六、一一、一
(内外商工時報第四卷第一二號) 大正六、一二、一
(内外商工時報第五卷第一號) 大正七、一、一
(内外商工時報第五卷第二號) 大正七、二、一
(内外商工時報第五卷第二號) 大正七、二、一
(農商公報第四卷第四册) 民國六、一一、一五
(農商公報) 民國六、一一、一五
(大陸第五三號) 大正六、一一、一
(大陸第五三號) 大正六、一二、一
(大陸第五三號) 大正六、一二、一
(東洋經濟新報自第八〇三號) 大正六、一二、一
(東洋經濟新報自第八〇五號) 大正七、二、一五
(東洋經濟新報第八〇六號) 大正七、二、二五
(支那第九卷第一號) 大正七、一、一
(支那第九卷第一號) 大正七、一、一
(支那第九卷第二號) 大正七、一、一
(支那第九卷第三號) 大正七、二、一五
(支那第九卷第二號) 大正七、一、一五
(支那第九卷第二號) 大正七、一、一五
(財政經濟新報第五卷第一號) 自大正七、一、一
(東亞經濟研究第二卷第一號) 大正七、一、一〇

吉林製絲會社
支那洋灰業
支那ノ「セメント」業
錦州ニ於ケル石綿製造狀況
支那ノ化學肥料
芝罘ニ於ケル絹織生産及輸出狀況
吉省玻璃公司新設
現代ニ於ケル支那ノ茶産業

商業

漢口ニ於ケル本邦商人ノ發展
農安市場穀物出廻狀況
上海ニ於ケル本邦人商業ノ進展
農安ニ於ケル穀物出廻狀況(大正六、一二)
支那各省ニ於ケル商務總會一覽表
海外ニ於ケル中國商務總會一覽表
支那各省ニ於ケル商會一覽表
最近ノ支那商業
遼東保險會社營業狀況
商務會論
民國六、一月ヨリ一二月ニ至ル間農商部註冊發給執照ノ公司
滿洲ニ於ケル日本商權ノ推移

(滿蒙實業叢報第三二號) 大正七、一、一五
(大陸工報第四五號) 大正七、一、一五
(經濟資料第三卷第一一號) 大正六、一一、二六
(通商公報第四七二號) 大正六、一一、二六
(フアイ、イースター、レグユウ第一三卷第一九號) 一九一七、一一、
(通商公報第四七五號) 大正六、一二、一六
(支那實業時報第四一號) 大正六、一二、二〇
(フアイ、イースター、レグユウ第一四卷第一號) 一九一八、一、
(通商公報第七七三號) 大正六、二、二九
(通商公報第四八五號) 大正七、一、二一
(通商公報第四八五號) 大正七、一、二一
(通商公報第四九〇號) 大正七、二、七
(農商公報) 民國六、一一、一五
(農商公報) 民國六、一一、一五
(農商公報) 民國六、一一、一五
(支那第九卷第一號) 大正七、一、一五
(支那第九卷第二號) 大正七、一、一五
(國家學會雜誌第三二卷第一號) 大正七、一、一
(政府公報第七二四號) 民國七、一、二七
(日本綿絲布滿洲輸出組合時報第七號) 大正七、二、一一







營口ニ於ケル過盤銀ノ將來(未完)  
 小額紙幣ノ發行ト其ノ將來  
 山東之度量衡  
 金ノ地位動搖問題  
 我國ノ金融ニ及ボセル戰爭ノ影響  
 大連商業會議所ノ金建尙早決議  
 支那新補助銀貨ニ就テ  
 東拓會社ノ貸出方針

▲貿易

比島外國貿易「五月」  
 安東貿易年報「大正五年」  
 堪察加產魚類仕向先指定  
 上海貿易狀況「大正六年上半期」  
 岳州貿易年報「大正四年度」  
 露國輸出禁種品追加  
 黑龍江諸港對露輸入貿易「大正五年」  
 沙市貿易年報「大正五年度」  
 支那製茶輸出狀況  
 黑龍江經由對露支那輸出貿易「大正五年度」  
 ニコラエウズク貿易年報「大正四年度」  
 赤峰貿易概況  
 香港輸出禁止品目改正  
 蘇州貿易年報「大正五年度」

(内外商工時報第五卷第一號) 自大正七、一、一  
 (財政經濟時報第五卷第一號) 大正七、一、一  
 (日支時論第四卷第一號) 大正七、一、一五  
 (内外商工時報第五卷第二號) 大正七、二、一  
 (財政經濟時報第五卷第二號) 大正七、二、一  
 (日本棉絲布滿洲輸出組合時報第七號) 大正七、二、一  
 (國民經濟雜誌自第二十三卷第六號) 大正七、二、一  
 (大陸第六卷第一號) 大正七、一、一

(通商公報第四三九號) 大正六、八、二  
 (通商公報第四三九號) 大正六、八、二  
 (通商公報第四六六號) 大正六、一、五  
 (通商公報第四六六號) 大正六、一、五  
 (通商公報第四六七號) 大正六、一、八  
 (通商公報第四七一號) 大正六、一、二二  
 (通商公報第四七二號) 大正六、一、二六  
 (通商公報第四七五號) 大正六、一、二六  
 (通商公報第四八〇號) 大正六、一、二四  
 (通商公報第四八四號) 大正七、一、一七  
 (通商公報第四八六號) 大正七、一、二四  
 (通商公報第四九五號) 大正七、二、二五  
 (通商公報第四八七號) 大正七、一、二八  
 (通商公報第四八七號) 大正七、一、二八

本邦重要輸出入品別價額戰前比較表  
 宜昌貿易年報(大正五年度)  
 香港輸出入制限令中改正  
 香港輸出入法修正  
 支那外國貿易額港別表(大正五年)  
 本邦外國貿易額國別戰前比較表  
 大連港貿易概況(大正六年十月)  
 大連港主要貿易品概況(大正六年十月)  
 南支那ニ於ケル英國貿易ノ發展  
 開戦後ノ日米貿易  
 戰爭ト本邦雜貨業(未完)  
 米國貿易最近ノ趨勢  
 青島貿易ノ將來  
 大正六年中本邦外國貿易狀況  
 一九一六年ニ於ケル支那重要商晶輸出入狀況  
 支那ニ於ケル金銀輸出入消長  
 支那中央港ノ貿易發展  
 戦後ニ於ケル獨支貿易  
 支那ノ茶貿易計畫  
 福建省ノ貿易  
 日露貿易ニ關スル調査  
 戦後ニ於ケル國際貿易策  
 長春重要輸出入品ノ概況

(通商公報第四八七號) 大正七、一、二八  
 (通商公報第四八八號) 大正七、一、三一  
 (通商公報第四八八號) 大正七、一、三一  
 (通商公報第四八八號) 大正七、一、三一  
 (通商公報第四九一號) 大正七、二、一一  
 (通商公報第四九二號) 大正七、二、一四  
 (滿蒙實業彙報第三〇號) 大正六、一、一五  
 (滿蒙實業彙報第三〇號) 大正六、一、一五  
 (滿蒙實業彙報第二九號) 大正六、一、一五  
 (東洋經濟新報第七九九號) 自大正六、一、二五  
 (東洋經濟新報第八〇〇號) 大正六、一、二五  
 (東洋經濟新報第八〇〇號) 大正六、一、二五  
 (商工時報) 大正六、四、一  
 (内外商工時報第五卷第二號) 大正七、二、一  
 (日支時論第五〇號) 大正六、一〇、二五  
 (日支時論第五〇號) 大正六、一〇、二五  
 (日支時論第五二號) 大正六、一一、二〇  
 (フア、イースタン、レヅエウ第一三卷第一九號) 大正六、一〇、二〇  
 (フア、イースタン、レヅエウ第一三卷第一九號) 大正六、一〇、二〇  
 (フア、イースタン、レヅエウ第一四卷第一號) 大正六、一〇、二〇  
 (福建事情) 大正六、九、二一  
 (滿蒙經濟事情第一四號) 大正六、一〇、一〇  
 (大藏省理財局調査月報第七卷第一四號) 大正六、一一、一〇  
 (長春貿易協會月報第一三號) 大正六、一一、二五



支那鴉片生藥及加工品輸出近況  
 薩藩ノ支那貿易ニ就キテ  
 米國ノ禁輸政策ト和蘭  
 大正六年中ノ朝鮮貿易  
 大正六年度ニ於ケル奉天輸出重要商品觀

▲關稅

牛莊稅關輸入品價格改正  
 支那國定關稅條例  
 運春稅關倉敷料徵收規則  
 滬寧津浦兩鐵道輸送外國貨物免稅  
 上海祥大思記號製造鏡架木減稅  
 天津魁記織染公廠製絲減稅  
 江蘇寶山縣華純織造廠製絲減稅  
 上海協和號、各種罐頭、餅乾及軍用餅乾等不再重徵稅  
 民國六年八月份海關稅鈔表  
 支那關稅改正問題  
 浙海關四年分各結收入統計表

▲商 品

本邦製浴巾ニ付テ「上海、沙市、重慶、汕頭」  
 支那ニ於ケル麥稈真田輸出狀況  
 濟南ニ於ケル石灰及骸炭集散狀況  
 營口ニ於ケル大麻子油集散狀況  
 汕頭ニ於ケル豆需給狀況

(農商公報第四卷第五册)  
 (國民經濟雜誌第二四卷第一號)  
 (外交時報第三一八號)  
 (朝鮮叢報第三七號)  
 (奉天商會會議所月報第六三號)

(通商公報第四六六號) 大正六、一一、一五  
 (通商公報第四八五號) 大正六、一一、二一  
 (政府公報第六九八號) 民國六、一一、二七  
 (通商公報第四八七號) 大正七、一一、二八  
 (通商公報第四八七號) 大正七、一一、二八  
 (奉天公報第二二〇號) 民國七、一一、二八  
 (奉天公報第二二一號) 民國七、一一、二八  
 (奉天公報第二二四號) 民國七、一一、二八  
 (政府公報第七〇五號) 民國七、一一、二八  
 (政府公報第七二一號) 民國七、一一、二八  
 (燕慶第四號) 大正六、一一、二〇  
 (燕慶第五號) 大正六、一一、二〇  
 (財政月刊第四八號) 民國六、一一、二〇

支那ニ於ケル膠需給狀況  
 支那加工鄂下米國ノ輸入禁止  
 滿洲ニ於ケル鉛需給狀況  
 上海ニ於ケル貝鈕需給狀況  
 支那ニ於ケル蠶絲及繭輸出狀況  
 天津ニ於ケル牛馬羊皮需給狀況  
 支那ニ於ケル鉛需給狀況  
 芝罘ニ於ケル柞蠶絲商況  
 芝罘ニ於ケル石灰市況  
 上海ニ於ケル海產物商況  
 芝罘ニ於ケル柞蠶絲ニ付テ  
 天津ニ於ケル陶磁器需給狀況  
 上海ニ於ケル石油及機械油需給狀況  
 天津ニ於ケル鹽酸加里需給狀況  
 鄭家屯ニ於ケル牛皮集散狀況  
 支那ニ於ケル輸入紙卷煙草ト南洋公司  
 芝罘ニ於ケル綿絲需給狀況  
 蒙古呼倫貝爾ニ於ケル畜產物輸出狀況  
 芝罘柞蠶絲市況  
 芝罘石灰市況  
 柞蠶絲及絹繭需給狀況  
 農安ニ於ケル皮革類商況  
 滿洲ニ於ケル輸入綿布  
 安東ノ大豆類

(通商公報第四六八號) 大正六、一一、二二  
 (通商公報第四七二號) 大正六、一一、二六  
 (通商公報第四七三號) 大正六、一一、二九  
 (通商公報第四七四號) 大正六、一一、二九  
 (通商公報第四七四號) 大正六、一一、二九  
 (通商公報第四七四號) 大正六、一一、二九  
 (通商公報第四七四號) 大正六、一一、二九  
 (通商公報第四七四號) 大正六、一一、二九  
 (通商公報第四七五號) 大正六、一一、二九  
 (通商公報第四七五號) 大正六、一一、二九  
 (通商公報第四七五號) 大正六、一一、二九  
 (通商公報第四七五號) 大正六、一一、二九  
 (通商公報第四八二號) 大正六、一一、二七  
 (通商公報第四八二號) 大正六、一一、二七  
 (通商公報第四八二號) 大正六、一一、二七  
 (通商公報第四八二號) 大正六、一一、二七  
 (通商公報第四八二號) 大正六、一一、二七  
 (通商公報第四八三號) 大正六、一一、二七  
 (通商公報第四八三號) 大正六、一一、二七  
 (通商公報第四八三號) 大正六、一一、二七  
 (通商公報第四八三號) 大正六、一一、二七  
 (通商公報第四八七號) 大正六、一一、二八  
 (通商公報第四八七號) 大正六、一一、二八  
 (通商公報第四八七號) 大正六、一一、二八  
 (通商公報第四八七號) 大正六、一一、二八  
 (通商公報第四八九號) 大正六、一一、二八  
 (通商公報第四八九號) 大正六、一一、二八  
 (通商公報第四八九號) 大正六、一一、二八  
 (通商公報第四八九號) 大正六、一一、二八  
 (通商公報第四九一號) 大正六、一一、二八  
 (通商公報第四九一號) 大正六、一一、二八  
 (通商公報第四九一號) 大正六、一一、二八  
 (通商公報第四九一號) 大正六、一一、二八  
 (內外商工時報十一月號)  
 (內外商工時報十一月號)  
 (內外商工時報十一月號)  
 (內外商工時報十一月號)



漢口ニ於ケル桐油事情  
支那ニ於ケル棉花  
北清ノ物産  
赤峰東南地方ニ於ケル甘草  
日本醬油ト蒙古甘草  
黒水附近ノ硝石及火薬  
復州産鹽吉黒方面輸出狀況  
露國ノ砂糖專賣  
芝罘ノ榨蠶絲  
滿洲ニ於ケル麻袋ノ需給狀況  
安東ノ大豆及大豆粕  
大豆ノ應用ト用途  
馬牛皮革類ノ商況  
時局ト商品(陶磁器)  
本邦製茶界ノ情勢

▲取引

農安ニ於ケル石油商況  
間島産白豆取引狀況  
山東産ノ生産及取引  
滿蒙ト金建取引  
滿蒙地方ニ於ケル金建取引普及ニ關スル建議  
大連重要物産取引所紛擾事件ノ顛末

- (内外商工時報第五卷第一號) 大正七、一、一
- (フアト、イースターン、レヴュー第一三卷第一九號) 一九一七、一二、
- (フアト、イースターン、レヴュー第一四卷第二號) 一九一八、二、
- (滿蒙經濟事情第一二號) 大正六、八、一〇
- (滿蒙經濟事情第一二號) 大正六、八、一〇
- (滿蒙經濟事情第一二號) 大正六、八、一〇
- (東三省鹽務公報第四三期) 民國六、九、一〇
- (大藏省理財局調査月報第七卷第一五號) 大正六、一一、二五
- (大陸第五三號) 大正六、一二、一
- (滿蒙實業彙報第三〇號) 大正六、一二、一五
- (安東商業會議所月報第三九號) 大正七、一、一五
- (グイヤモンド第六卷第二號) 大正七、一、一五
- (奉天商業會議所月報第六二號) 大正七、一、一五
- (財政經濟時報第五卷第一號) 大正七、二、一一
- (財政經濟時報第五卷第二號) 大正七、二、一一
- (東洋經濟新報第八〇六號) 大正七、二、二五

- (通商公報第四三九號) 大正六、八、二
- (通商公報第四八三號) 大正七、一、一四
- (通商公報第四八五號) 大正七、一、二一
- (大陸第五三號) 大正六、一二、一
- (滿蒙實業彙報第二九號) 大正六、一一、一五
- (滿蒙實業彙報第三〇號) 大正六、一二、一五
- (滿蒙實業彙報第三一號) 大正七、一、一五

▲相場

歐洲戰爭ト漢口輸出入品相場  
金ノ價值ノ低落  
大正六年一、二月中銀地相場  
強調ナル豆市場

▲權衡

權度検査所章程  
戰後國際市場ニ於ケル米國ノ地位

▲物價

滿洲ニ於ケル物價騰貴ノ趨勢  
炭價調節ニ關スル建議  
支那主要輸出入品數量價額表(大正五年度)  
朝鮮物價及勞力

農業

▲一般

濟南地方落花生及瓜子生産狀況  
武昌ニ於ケル農商部棉花展覽會  
間島重要農作物作付段別及收穫高  
支那棉花改良意見  
河南省ノ穀類ニ付テ  
滿洲ニ於ケル小麥ニ就テ

- (通商公報第四六六號) 大正六、一一、五
- (大藏省理財局調査月報第七卷第一五卷) 大正六、一一、二五
- (滿蒙實業彙報第三一號) 大正七、一、一五
- (東洋經濟新報第八〇四號) 大正七、二、五
- (農商公報第四卷第五册) 民國六、一二、一五
- (國民經濟雜誌第二四卷第一號) 大正七、一、一
- (滿蒙經濟事情第一二號) 大正六、八、一〇
- (滿蒙實業彙報第二九號) 大正六、一一、一五
- (通商公報第四八六號) 大正七、一、二四
- (朝鮮銀行月報第八卷第一二號) 大正七、一、三一
- (通商公報第四七五號) 大正六、一一、六
- (通商公報第四八二號) 大正七、一、一〇
- (通商公報第四八三號) 大正七、一、一四
- (支那第八卷第二三號) 大正六、一一、一五
- (支那第八卷第二四號) 大正六、一二、一五
- (支那第九卷第二號) 大正七、一、一五
- (支那第九卷第三號) 大正七、二、一〇
- (滿蒙經濟事情第一二號) 大正六、八、一〇



















民國五年郵政成績  
鄭家屯ニ於ケル電話架設

地理

支那一般

海關鐵道沿線事情  
七省聯防ノ區域 (湖南、湖北、福建、浙江、江蘇、江西、安徽)  
調查口外農業紀要  
支那周圍ノ民族  
最近ノ支那土地建物業

奉天

開通縣誌  
安廣縣誌  
靖安縣誌  
營口及錦州旅行ノ乘  
撫鹿地方農產物輸出入狀況及貨幣相場

奉天支那商工名錄  
奉天ニ於ケル戸口ノ變遷

吉林

頭道溝地方ニ於ケル物價騰貴  
農安ニ於ケル交通銀行出張所設置ニ付テ

黑龍江

黑省林甸縣設置

(燕塵第一二號)  
(通商公報第四九一號)

大正七、二、一〇  
大正七、二、一二

(大陸工報第四四號)  
(支那第八卷第二三號)  
(教育公報第四年第一五期)  
(東洋時報第二三〇號)  
(支那第九卷第一號)

大正六、一二、一五  
大正六、一二、一  
民國六、二、三〇  
大正六、一一、二〇  
大正七、一、一

(吉長日報)  
(吉長日報)  
(吉長日報)

明治四二、一二、二三  
明治四二、一二、二三  
明治四二、一二、二三

(通商公報第四六八號)  
(通商公報第四八九號)  
(奉天商業會議所月報第六〇號)  
(奉天商業會議所月報第六二號)

大正六、一一、一二  
大正七、二、四  
大正六、一一、一五  
大正七、一、一五

(通商公報第四六五號)  
(通商公報第四七八號)

大正六、一一、一  
大正六、一二、一七

(支那研究資料第一一年第七輯)

大正六、一〇、五

海關鐵道沿線事情

關東州

大連自由港活用論

蒙藏

札薩克鎮公喇什敏珠爾病故請授例致祭給賜

附屬蒙古王公年班班次街名單

哲里木等盟各旗請襲台吉塔布薩員名

核補札薩古喇嘛等缺

郡王布彥烏勒哲依病故擬援例致祭給賜

年班蒙古王公色凌瑞魯布等給假

回部鎮國公木沙病故請援案致祭給賜

西藏事情

滿洲日人戸口調査

錦赤街道概況

永定行問題意見書

伯都訥(扶餘)近況

林西近況

赤峰林西間沿途狀況

赤峰商旱地

濟南の將來

天津の將來

(東洋時報第二三〇號)

大正六、一一、二〇

(大陸第五三號)

大正六、一二、

(政府公報第六五一號)

民國六、一一、八

(政府公報第六八一號)

民國六、一一、八

(政府公報第六八二號)

民國六、一一、九

(政府公報第六八三號)

民國六、一一、一〇

(政府公報第六九六號)

民國六、一二、二四

(政府公報第七一一號)

民國七、一、一四

(政府公報第七二五號)

民國七、一、二八

(大陸第五三號)

大正六、一二、一

(日支時論第四卷第一號)

大正七、一、一五

(滿蒙經濟事情第一二號)

大正六、八、一〇

(鐵路協會會報第六一、六二期)

民國六、二、二五

(滿蒙經濟事情第一二號)

大正六、八、一〇

(滿蒙經濟事情第一二號)

大正六、八、一〇

(滿蒙經濟事情第一二號)

大正六、八、一〇

(滿蒙經濟事情第一二號)

大正六、八、一〇

(商工時報)

大正六、四、

(商工時報)

大正六、四、



獨逸經營時代ニ於ケル膠州灣施政ノ研究  
青島最近商況  
直隸省河川ノ保護

▲其他支那

福建省ニ於ケル外國人ノ企業  
福建省ノ都市  
元福建巡按使許世英ノ福建沿海地方巡視報告書  
沙市及宜昌旅行ノ乘  
上海ニ於ケル支那人經營アパートメントストア開設  
福州旅行ノ乘  
武漢地方旅行ノ乘  
長沙旅行ノ乘  
蘇州旅行ノ乘  
上海旅行ノ乘  
福建省ノ沿革  
福建省ノ人口及戶數  
福建省ノ氣候及衛生  
福建省ノ産業  
福建省ノ産物  
新彊之鑛産  
北安徽省ニ於ケル河川ノ保護  
朝鮮ノ燃料問題

▲朝鮮

鮮

(支那研究資料第一卷第七號)  
(通商公報第四七八號)  
(フアイ、イースター、レグジュウ第一三卷第一九號)一九一七、一一、

(福建事情)  
(福建事情)  
(福建事情)  
(通商公報第四六七號)  
(通商公報第四七四號)  
(通商公報第四七六號)  
(通商公報第四八〇號)  
(通商公報第四八八號)  
(通商公報第四八九號)  
(通商公報第四九〇號)  
(福建事情)  
(福建事情)  
(福建事情)  
(農商公報第四卷第六册)  
(フアイ、イースター、レグジュウ第一三卷第一九號)一九一七、一二、  
(朝鮮彙報第三五號)  
(朝鮮彙報第三六號)

慶州及金海ニ於ケル古蹟保存事業並蔚山城址會狀況  
朝鮮人口統計(大正五年末)  
義州事情

▲臺

灣

臺灣ノ産業  
臺灣婦人ノ纏足

▲露

國

露國ノヤルマルカ  
露領沿海州ノ現狀ト本邦商人ノ覺悟

▲雜

各國都市名ノ譯音統一  
佛領印度支那ノ經濟事情

政治外交

▲一

般

日米商議  
米國ノ日本ニ對スル意圖  
日米協約ト中華民國ノ地位  
日米協約ヲ評ス  
日米新協商トモノロ主義  
米國ノ對露政策  
獨逸植民地ノ全滅ト其結果  
日露密約ト米國

(外事彙報第一號)  
(外事彙報第一號)  
(外事彙報第一號)  
(外事彙報第一號)  
(外事彙報第一號)  
(外交時報第三一六號)  
(外交時報第三一六號)  
(外交時報第三一六號)  
(外交時報第三一八號)



露部ニ於ケル日露密約發表  
 戰爭終結ニ關スル獨塊協定  
 段内閣動搖顛末  
 支那内閣改組情況  
 支那對聯合國希望條件  
 日米禁鐵交涉及日支之關係  
 各國支那研究機關  
 朝鮮地價調查綱要  
 露國ニ於ケル土地問題  
 支那ト日米關係  
 英米ノ支那ニ對スル聯合

▲利 權

- (外交時報第三八號) 大正七、二、一
- (外交時報第三一八號) 大正七、二、一
- (燕塵第六號) 大正六、一、二〇
- (燕塵第六號) 大正六、一、二〇
- (滿蒙實業叢報第二九號) 大正六、一、二〇
- (鐵路協會會報第六三期) 大正六、一、一五
- (經濟資料第四卷第一號) 大正七、一、一
- (朝鮮叢報第三七號) 大正七、一、二五
- (大藏省理財局調查月報第八卷第一號) 一九一七、一、二
- (フア、イースタ、ン、レヴュー第一三卷第一九號) 一九一七、一、二
- (フア、イースタ、ン、レヴュー第一四卷第一號) 一九一八、一、一

獨逸ノ戰後對支經濟政策  
 米國國際企業會社  
 支那ニ發展シツアル米國ノ商業的勢力、鐵道並ニ渾河ニ關スル契約ノ成立(交渉資料第二〇編)  
 日本戰後ノ對支經濟策  
 日露經濟關係ノ前途如何  
 極東ニ於ケル通商利權ノ衝突並政策  
 參議院秘書廳成立  
 支那ノ危機時代  
 馮麟閣ト張作霖

▲議 會  
 ▲政 論

- (日支時論第四九號) 大正六、一〇、一〇
- (日支時論第五〇號) 大正六、一〇、二五
- (日支時論第五二號) 大正六、一〇、二〇
- (農商公報第四卷第五册) 大正六、一〇、一
- (財政經濟時報第五卷第一號) 大正七、一、一
- (大藏省理財局調查月報第七卷第一四號) 大正六、一、一〇
- (燕塵第六號) 大正六、一、二〇
- (日支時論第五一號) 大正六、一、二五
- (日支時論第四卷第一號) 大正七、一、一五

對支經營論  
 歐米人ノ支那政治上ノ缺陷ト其改革案  
 江蘇督軍李純  
 大連自由港活用論  
 支那大官ノ所屬系統

▲軍 事

- (日支時論第五二號) 大正六、一、二〇
- (支那第八卷第二二號) 大正六、一、一
- (燕塵第一二號) 大正七、二、一〇
- (大陸第五三號) 大正六、一、一
- (朝鮮及滿洲第一二八號) 大正七、二、一
- (政府公報第六八九號) 民國六、一、二、一六
- (政府公報第七〇三號) 民國七、一、一、六
- (燕塵第五號) 大正六、一、一〇
- (燕塵第五號) 大正六、一、一〇
- (支那第八卷第二三號) 大正六、一、一

復辟始末記  
 日華博覽會開設ニ關スル建議  
 日米共同宣言ノ内容  
 外國ノ支那研究調查機關  
 支那民族性ト政治トノ關係

社 會

- (支那研究資料第一卷第七輯) 大正六、一〇、五
- (滿蒙實業叢報第二九號) 大正六、一、一五
- (東亞經濟研究第二卷第一號) 大正七、一、一〇
- (日支時論第四卷第一號) 大正七、一、一五
- (日支時論第四卷第一號) 大正七、一、一五

▲一 般  
 最近ノ支那水道電氣瓦斯事業  
 猶太人ト支那人

- (支那第九卷第一號) 大正七、一、一
- (支那第九卷第三號) 大正七、二、一







世界ノ移民ニ及ホセル戦争ノ影響  
 南亞ニ於ケル印度人及支那人情態  
 國際勞動者問題  
 支那ノ海外移民  
 米國ノ移民制限

歴史

支那政黨史稿  
 朝鮮最近四十年間ニ於ケル政變史  
 任那ニ就テ

統計

黑省民國四年分當課收入統計表  
 黑省民國四年分燒課收入統計表  
 黑龍江省民國四年分漁業稅收入統計表  
 黑龍江省民國四年分礦業稅收入統計表  
 黑龍江省民國四年分特種營業稅收入統計表  
 黑龍江省民國四年分煙酒牌照稅收入統計表  
 黑省民國四年分官業收入統計表  
 黑省民國四年分清丈兼招墾收入統計表  
 黑省民國四年分雜費收入統計表  
 黑省民國四年分雜項收入統計表  
 黑省民國四年分雜捐租收入統計表  
 濱江農產交易信託公司第二年度營業統計表

(通商公報第四六九號)  
 (通商公報第四七六號)  
 (外交時報第二六卷第一〇號)  
 (東亞經濟研究第二卷第一號)  
 (外交時報第三一八號)  
 (支那自第八卷第一四號)  
 (朝鮮及滿洲第一二七號)  
 (朝鮮叢報第三七號)  
 (財政月刊第四六號)  
 (財政月刊第四六號)  
 (財政月刊第四六號)  
 (財政月刊第四六號)  
 (財政月刊第四六號)  
 (財政月刊第四六號)  
 (財政月刊第四六號)  
 (財政月刊第四六號)  
 (農商公報第四卷第四册)  
 大正六、一一、一五  
 大正六、一二、一〇  
 大正六、一一、一五  
 大正七、一一、一〇  
 大正七、一一、一〇  
 自大正六、七、一五  
 至大正六、二、一一  
 大正七、一一、一一  
 大正七、一一、一一  
 民國六、一〇、  
 民國六、一〇、  
 民國六、一〇、  
 民國六、一〇、  
 民國六、一〇、  
 民國六、一〇、  
 民國六、一〇、  
 民國六、一〇、  
 民國六、一〇、  
 民國六、一一、一五

火災保險分類統計論(未完)  
 統計月報(大正六年七月分)

露國新聞

樺太島ノ要スル糧食  
 極東露西亞商工業者大會ノ記  
 勘察土人ノ窮乏ト其救濟策  
 ウラリスク州ノ住民ト行政  
 シベリヤノ新鐵道敷設ニ就テ  
 露國鐵道乘客貨物運賃率ノ引上ゲ  
 全露鐵道同盟交通省ノ事務ヲ取ルコトトナル  
 鐵業ノ自由  
 露國石油事業ノ窮境ト米人招聘  
 浦羅斯德ト石炭供給  
 露國漁業ト食糧問題  
 露米貿易現狀  
 歐露ニ於ケル工場ノ極東地方移轉  
 シベリヤニ羅紗工場建ツ  
 「ルーブル」ノ相場ト物價騰貴  
 革命ト普通國庫收入  
 莫斯科ノ人口  
 浦羅斯德ノ人口統計

(プリアムルスカヤ、イズウエスチ) 一九一七、一一、三  
 (ダリヨールカヤ、オクライナ) 一九一七、一一、四  
 (プリアムルスカヤ、イズウエスチ) 一九一七、一一、八  
 (ダリヨールカヤ、オクライナ) 一九一七、一一、一  
 (ダリヨールカヤ、オクライナ) 一九一七、一一、一四  
 (ダリヨールカヤ、オクライナ) 一九一七、一一、一四  
 (ダリヨールカヤ、オクライナ) 一九一七、一一、一四  
 (ダリヨールカヤ、オクライナ) 一九一七、一一、一六  
 (ダリヨールカヤ、オクライナ) 一九一七、一一、一六  
 (プリアムルスカヤ、イズウエスチ) 一九一七、一一、三  
 (ダリヨールカヤ、オクライナ) 一九一七、一一、三  
 (ダリヨールカヤ、オクライナ) 一九一七、一一、一四  
 (ダリヨールカヤ、オクライナ) 一九一七、一一、一六  
 (ダリヨールカヤ、オクライナ) 一九一七、一一、一八  
 (ダリヨールカヤ、オクライナ) 一九一七、一一、一八  
 (ダリヨールカヤ、オクライナ) 一九一七、一一、四  
 (ダリヨールカヤ、オクライナ) 一九一七、一一、四  
 (ダリヨールカヤ、オクライナ) 一九一七、一一、一六  
 (國民經濟雜誌第二四卷第一號) 自大正七、一、一  
 大正七、二、一九



自大正六年十月一日至大正七年二月二十八日受入圖書書類

四〇

圖書

- 民國財政史 上、下 (陽羨賈士毅) 民國六、四
- 香港事情 (外務省通商局) 大正六、五、一五
- 民國行政統計彙報(蒙藏類)(第五編) (國務院統計局) 民國六、六
- 臺灣事情 (臺灣總督府) 大正六、九
- 福建事情 (外務省通商局) 大正六、九、二一
- 滿洲經濟狀況報告(第一三四輯) (正金銀行大連支店) 大正六、一〇
- 民國行政統計彙報(農商類、第六編) (國務院統計局) 民國六、一一
- 職官任免年月表 (印鑄局) 民國六、一一
- 支那關係特種條約彙纂 (東亞同文會編纂) 大正六、一二、一三
- 滿鐵沿線商工要錄 (地方部地方課) 大正六、一二、二五
- The Chinese Recorder. 教務雜誌, 回々教號 (第一五八卷第一〇號) 大正六、一二、二五
- 滄海雜誌 (申報) 一九一七、一〇

書類

- 滿洲ノ鹽ニ關スル制度(商工調査第五號) (地方部地方課商工係) 大正七、二
- 露國銀行界ニ於ケル外國資本(調第五號) (朝鮮銀行) 大正七、一
- 大阪市商工時報(第九號) (大阪市役所商工課) 大正七、一
- 滿洲化學工業大系 (鈴木庸生説) 大正七、一
- 日支合辦株式會社東省實業公司(內容設立趣意書、目論見書、定款) 二四三

- 北米合衆國、英領加奈太最近商工事情(第一〇號) (大阪市囑託伊藤晴一視察) 大正七、二、二八
- 附屬地内度量衡統一ニ就テ(商工調査第三號) (地方課商工係) 大正六、一二
- 滿鐵沿線ニ於ケル度量衡ニ關スル調査(報工調査第三號) (滿鐵地方課) 大正六、一〇
- 一九一三年度幣制調査委員會最終報告(調査月報第六號) (大藏省理財局) 大正六、一二、二五
- 歐洲戰爭ト楊子江流域ニ於ケル列國貿易ノ消長 (調査課) 大正七、二、二七
- 豌豆及菜豆ニ關スル調査 (朝鮮銀行調査局) 大正七、一
- 南滿洲ニ於ケル紙類 (關東都督府民政部) 大正五、八、三〇
- 露國ニ於ケル物物交換取引ノ復興(調第三號) (朝鮮銀行調査局) 大正七、一
- 青島ニ於ケル物價 (青島守備軍民政部) 大正六、一二、二五
- 大日本山林會報(第四二三號) (大日本山林會) 大正七、二、一五
- 湖北省象鼻山鐵礦ノ開辦 (朝鮮銀行調査局) 大正七、一
- 戰後ノ海運競争ニ對スル各國ノ準備(調第四號) (滿鐵京城管理局) 大正七、一
- 民國五年度支那國有鐵道ノ總況 (滿鐵京城管理局) 大正七、一
- 朝鮮鐵道狀況(第八回) (滿鐵京城管理局) 大正七、一
- 山東鐵道管理年報(大正五年度) (滿鐵京城管理局) 大正七、一
- 裕中公司借款契約ト豫定線路(交渉資料第二十編) (滿鐵京城管理局) 大正六、九、二五
- 大連及旅順水道小誌 (關東都督府) 大正六、九、二五

四一



大正七年六月十日印刷  
大正七年六月十一日發行

南滿洲鐵道株式會社  
總務部調查課

大連市大山通七十四號地  
印刷人 太田信三

大連市大山通七十四號地  
印刷所 小林又七支店

電話 二〇四四二番  
振替 大連九八四番



14.5  
17



終

